（別紙３）

公表　事業所における自己評価総括表

○事業所名	LikePot小郡			
○保護者評価実施期間	令和7年12月1日	～	令和7年12月20日	
○保護者評価有効回答数	（対象者数）	3名	（回答者数）	2名
○従業者評価実施期間	令和7年12月1日	～	令和7年12月20日	
○従業者評価有効回答数	（対象者数）	8名	（回答者数）	8名
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年1月15日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	部屋数も多く、活動毎に分けることができている。 パーテーションなどを活用し、視覚化することで子どもたちに分かりやすい環境になっている。 個別対応の子にも対応できる。	スケジュールを使用することで、将来自分で考えて行動できるよう就学前から取り入れている。 課題を行う際も、自分で確認し取り組む課題を取り・終わらせてから元の場所に戻すワークシステムを導入している。	PECSを使用しているが、もっと個人にあった物を増やしていきたい。
2	毎日必ず運動遊びを取り入れ身体を動かし感覚統合や体幹強化等を図っている。	セラピストの意見を聞いて飽きの来ないよう活動を提案している。 長期休暇は様々なイベントを企画している。	毎週目標を決めアプローチしていく項目を設定し、より効果的な身体機能の向上を図りたい。
3	毎日業務割を作成し、各スタッフの業務を視覚化・明確化し業務効率化を図っている。 毎日朝礼・終礼を行い、業務確認と情報共有をし記録に残し休みのスタッフでも確認できるようにしている。 毎月ミーティング、もしくは必要に応じて話し合いの機会を設けている。	不適切な行動に目がいきがちになるため、適切な行動や発言なども大事に観察や記録を意識している。 何か問題があれば、その都度管理者に報告し話し合いを行っている。	スタッフ全員が同じ質の支援ができるよう意識を高めていきたい。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	細かい変化はあるものの大きな変化はない。ビッグイベントなどは会社全体であるのみ。	毎回アレンジは加えているが、利用している児童の状況が様々で大きな行事の変化があまりない。	参加しやすい福祉イベントなどに行き、外部との関わりを増やしていきたい。 他ぽっとと協力し、個々のねらいに応じた活動が幅広く提供できるよう努めたい。
2	運動遊びだけでは活動量が足りない。	子どもたちの集中できる時間の問題。	晴天時は外遊びを企画。 余暇活動で平均台や飛び石などを準備し自由に遊べる空間を作る。
3			